

令和元年度 木曽三川下流地区広域観光連携協議会

木曽岬町視察交流会

報告書



令和2年2月

木曽三川下流地区広域観光連携協議会 事務局

木曽三川下流地区広域観光連携協議会 木曽岬町視察交流会

開催日時：令和元年 12 月 23 日（月） 9:30～13:00

開催目的：木曽岬町における資源（歴史、産業、防災）を巡り、観光資源としての活用の可能性を確認するとともに、木曽三川下流地区の観光ボランティアガイドの交流を図ることを目的として開催しました。

開催内容：

9:30～9:45 開会、あいさつ（木曽岬町役場）

- ・木曽岬町長、木曽川下流河川事務所長による挨拶を頂きました。

9:50～10:10 木曽岬町文化資料館

- ・木曽岬町の歴史や伊勢湾台風の災害等について、資料館の展示施設を見学しました。

10:20～10:40 木曽岬選果場

- ・木曽岬町の名産であるきそさきトマトの選果場で、実際の選果作業の状況を見学しました。

11:55～11:45 木曽岬干拓地メガソーラー発電所

- ・木曽岬干拓地の広大な敷地を活用して平成 26 年から商業運転が行われているメガソーラー発電所を見学しました。

12:00～13:00 木曽川源緑地区河川防災ステーション/木曽岬町防災センター

- ・災害時の復旧活動の拠点として整備された木曽岬源緑地区河川防災ステーション/木曽岬町防災センターを見学し、昼食をとりました。

13:00 閉会（木曽川源緑地区河川防災ステーション/木曽岬町防災センター）



木曾岬町視察交流会 視察箇所

1. 開会、あいさつ

各市町を通して観光ボランティアガイドの方から参加者を募集し、関係者を含め 64 名の方に参加頂き、視察交流会を開催しました。

開会式は木曽岬町役場 2F 町民ホールを会場として開催し、開会にあたり、木曽岬町長、木曽川下流河川事務所所長より、開会の挨拶を頂きました。

●木曽岬町 加藤町長挨拶



木曽岬町は海拔ゼロメートル地帯の水郷輪中の町です。先祖は、大半が 350～380 年前に知多半島から新田開発で入ってきた人々であり、伊勢・桑名と知多半島の東西の文化から成り立っています。観光資源は、伊勢湾台風の復興で植えられた鍋田川の桜並木くらいですが、きそさきトマトは三重県内の生産の 5 割近くを占める主要な生産物です。限られた時間と観光資源ですが、木曽岬町を十分に見てもらい、今後、さらに交流を深めていければと思います。

●国土交通省木曽川下流河川事務所 村田所長挨拶



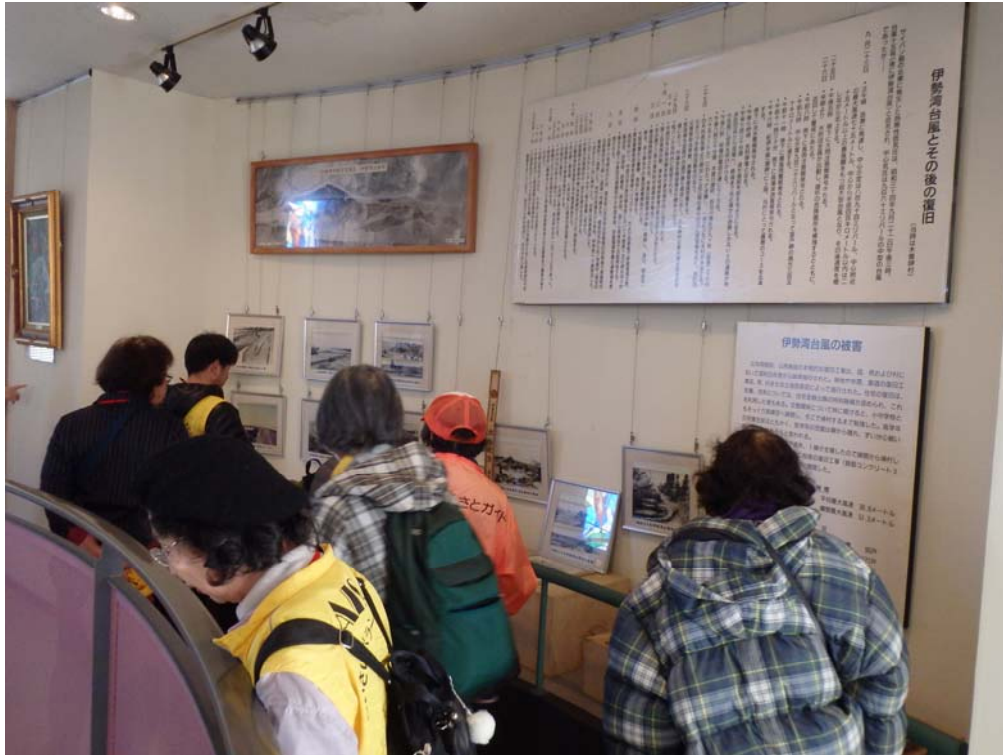
木曽三川下流地区には、愛知・岐阜・三重の 3 県が位置し、豊かな歴史に育まれた伝統文化、広大な平野や山地、魅力ある水郷景観といった観光資源を有しています。広域連携協議会は、平成 22 年に設立され、視察交流会や社会実験を通じて、これらの観光資源に関する情報発信を行っています。本日の木曽岬町での視察交流会が有意義なものとなることを期待しています。



開会式の様子

2. 木曽岬町文化資料館

木曽岬町役場の敷地内に開設されている木曽岬町文化資料館を見学しました。
木曽岬の昔の暮らしや伊勢湾台風による被害と復興等について、模型や展示品により、学ぶことができました。



伊勢湾台風に関する展示



木曽岬の昔の暮らしの模型



木曽峠町のパノラマ模型



2階 展示室

3. 木曽岬選果場

木曽岬町の特産品であるきそさきトマトの選果場を見学しました。

きそさきトマトは、木曽岬町の土に起因して、通常のトマトに比べてコクがあるそうです。アンケート調査からは、トマトを買って食べてみたいという意見も多く得られました。



選果場 1 階の様子



選果場 2 階の様子



選果作業の状況

4. 木曽岬干拓地メガソーラー発電所

木曽岬干拓地の広大な敷地を活用して設置された、木曽岬干拓地メガソーラー発電所を見学しました。

見学に先立ち、移動中のバスの中でメガソーラー発電所の説明用DVDを見て頂き、基礎知識を習得しました。現地では、担当者である岡本様より、メガソーラー発電所の説明を頂きました。

実際にメガソーラーのパネルに触れてみるなど、普段は味わうことができない体験をすることができました。



メガソーラーについての説明



メガソーラーの案内板



メガソーラーのパネル



ソーラーパネルの見学

5. 源緑地区河川防災ステーション／木曾岬町防災センター

災害時の復旧活動の拠点として整備された防災ステーション、防災センターを見学しました。

見学前に、防災センターを背景にして集合写真を撮影しました。

防災ステーションの備蓄資材や緊急車両等を見学し、防災ステーションの機能について学びました。



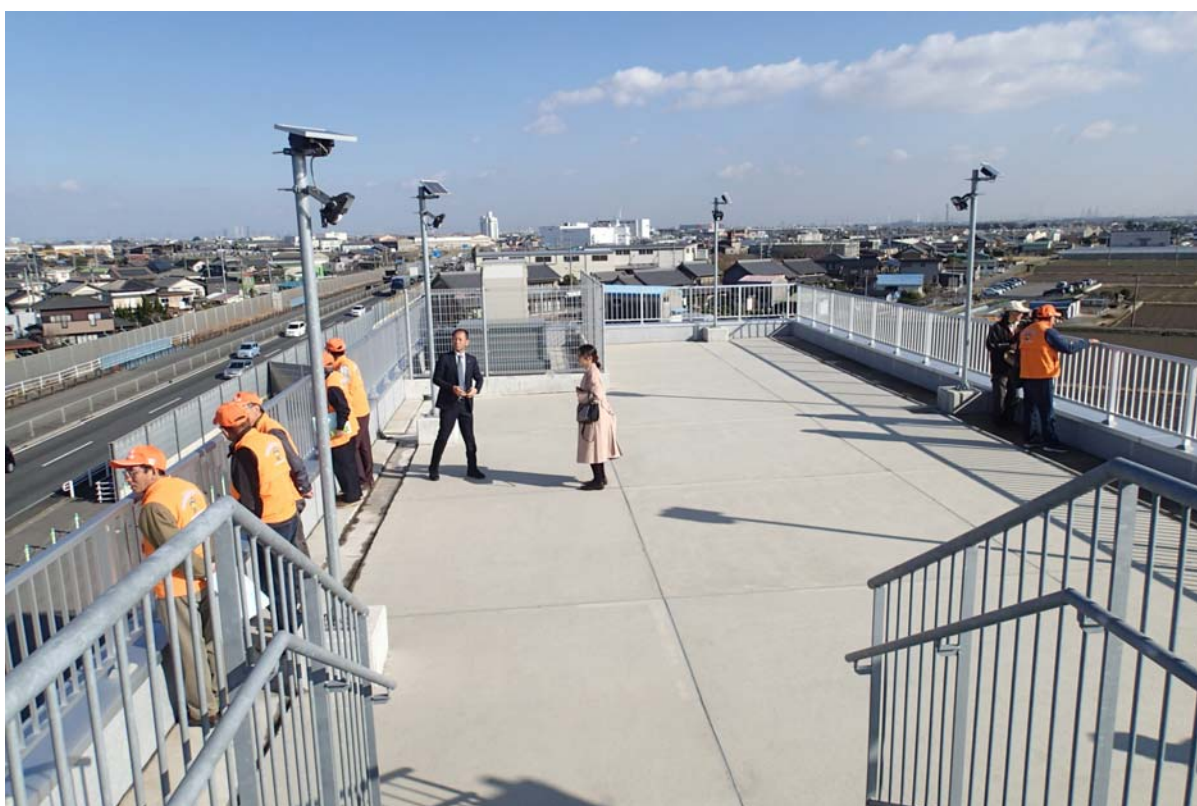
防災センターを背景に集合写真撮影



国交省による説明



防災センター全景



防災センター屋上

施設見学後は、防災センター2階の会議室で昼食を頂き、昼食後、閉会式を行いました。



昼食



閉会式

8. あとがき

今年度は、木曽岬町を対象として、歴史・産業・防災に関わる資源を巡り、視察を行うことで、地域の観光資源の活用の可能性を考えて頂きました。

海拔ゼロメートル地帯に広がる木曽岬の暮らしと伊勢湾台風による被害からの復興、木曽岬の土地を生かした特産品であるトマトや、木曽岬干拓地を活用したメガソーラー発電所、また防災の観点から防災ステーション・防災センターと、様々な視点から木曽岬町を知ることができました。また、各市のボランティアガイドの皆様は大勢参加頂き、お互いの交流を深めることができました。参加頂いた皆様には御礼申し上げます。

視察箇所では説明頂いた木曽岬選果場やメガソーラー発電所の担当者の方には、丁寧なご説明を頂き、感謝いたします。

引き続き、木曽三川下流地区の広域観光連携にご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

令和2年2月

木曽三川下流地区広域観光連携協議会 事務局
国土交通省 木曽川下流河川事務所 河川公園課
木曽岬町 産業課